

2019
事例集
グッドスキルマーク

中央技能振興センター
(受託者：中央職業能力開発協会)

■ 青森県
モード・由記
〈婦人服〉



■ 山形県
石の浄朝 有限会社
〈石材製品〉



■ 神奈川県
トータル寝具ショップ のはら
〈寝具製品〉



■ 神奈川県
大野タイル工事店
〈タイル張り工事、れんが積み工事〉

■ 神奈川県
有限会社 国峰印房
〈印鑑〉

■ 石川県
今西和裁
〈和服〉

■ 奈良県
Patisserie 旬
〈洋菓子〉

■ 島根県
舟木木工所
〈木製建具〉

■ 岡山県
有限会社 福島鉄工所
〈バーベキュー用鉄板セット〉

■ 岡山県
カンダエステム 株式会社
〈宝飾品〉

■ 大分県
高野家具製作所
〈家具等〉

■ 沖縄県
大伸たたみ店
〈畳〉



はじめに

グッドスキルマークは、特級技能士、一級技能士又は単一等級の技能士がその技能を駆使した製品等であることを示すためのマークです。このマークの表示普及により、優れた技能を駆使した付加価値の高い製品等であることを、直接、国内外の消費者に対してアピールし、ものづくり日本の再興と熟練技能の継承を図ることを目的として、平成29年度に取組を開始しました。

このマークのデザインは、「『一流を意味する、「I(ファースト)』の組み合わせ」、「優れた技能は努力と鍛錬によって培われた『一流』のコツが集積、形成されていることを表現」及び「『ギ能』の価値を『支え』、『支持し』、『支援する』マークであることの示唆」を表現しています。

取組開始から平成30年度までに、要件である「技能検定職種による技能と関係のある技能を駆使した製品等であること」「一級技能士等が製品等の完成までの全工程において一貫して関与し、技能を駆使した製品であること」などを満たした77の製品(平成29年度11、平成30年度66)が認定されています。

今回、認定されました製品の中から、12の製品を紹介しております。製品の紹介を通じて、一級技能士等の方々のこだわりや匠の技を知っていただくことができます。グッドスキルマークの認定を希望される技能士の方々だけでなく、これから一級技能士を目指す方々などにも参考にしていただければ幸いです。

本書の作成に当たり、ご多忙の中、取材にご協力いただきました技能士やその関係者の方々に対し、紙面を借りて厚く御礼申し上げます。

令和元年10月
中央技能振興センター
(中央職業能力開発協会)



グッドスキルマーク
事例集 2019 〈目次〉



事例① 青森県	モード・由記 木村 由記子〈婦人服〉	04
事例② 山形県	石の浄朝有限会社 吉田 朝夫 / 吉田 朝頼〈石材製品〉	05
事例③ 神奈川県	トータル寝具ショップ のはら 野原 久義〈寝具製品〉	06
事例④ 神奈川県	大野タイル工事店 大野 繁幸〈タイル張り工事、れんが積み工事〉	07
事例⑤ 神奈川県	有限会社国峰印房 國峯 伸之〈印鑑〉	08
事例⑥ 石川県	今西和裁 今西 渉〈和服〉	09
事例⑦ 奈良県	Patisserie 旬 青木 旬弘〈洋菓子〉	10
事例⑧ 島根県	舟木木工所 舟木 清〈木製建具〉	11
事例⑨ 岡山県	有限会社福島鉄工所 福島 弘士〈バーベキュー用鉄板セット〉	12
事例⑩ 岡山県	カンダエステム株式会社 倉田 信二〈宝飾品〉	13
事例⑪ 大分県	高野家具製作所 高野 二郎〈家具等〉	14
事例⑫ 沖縄県	大伸たたみ店 益田 伸次〈畳〉	15

平成29年度・平成30年度認定製品等一覧……………16

グッドスキルマークの紹介とは？(制度の紹介)……………19



技 GOOD SKILL 事例 1



箆笥(たんす)の和服に 新たな命を与える リメイク婦人服

モード・由記
木村 由記子 (きむら ゆきこ)

平成5年に「モード・由記」を創業。
平成25年度ものづくりマイスター、平成21年度全技連マイスター、平成28年度八戸市文化賞、平成30年度青森県褒賞、平成4年度「技能グランプリ(婦人服製作職種)」銅賞、平成22年度「全日本洋裁技能コンクール」東京都知事賞

■「生地の声」とお客様の声をもとにつくる婦人服

モード・由記では、オーダーメイドの婦人子供服を製造しています。特に力を入れているのが、振袖や打掛などの和服をリメイクしたドレスや、コート、ブラウス、ワンピースなどの製造です。リメイク品の製造は、お客様が和服を持ち込まれるところから始まります。その多くは箆笥(たんす)で眠っていたものであり、「この美しい和服に日の目を見せてあげたい」という想いで取り組んでいます。

大切なのは「生地の声」を聴くこと。生地をじっくりと見て、どのようなデザインにすれば最も輝くのか、アイデアを練っていくのです。生地の良さを引き出すために、鳥の柄を活かそうと考えたときは、数ミリほどのくちばしの刺繍が綺麗に合わさるよう、非常に細かな調整を行いました。同じ和服といっても生地や柄などは多種多様ですから、お客様の声をしっかりと受け止めることも欠かせません。気軽にパーティーなどへ着て行きたいというお客様には、和服の生地によくある家紋を隠してはどうですかと提案することもあります。何度もやり取りを行い、お客様の理想に少しでも近づけるように努力しています。

この仕事で何よりの喜びは、私がつくった服を実際にお客様に着ていただくことです。ちょうど今、リメイク品の

こだわりのハサミ

リメイクで扱うのは、お客様の思い出の詰まったかけがえない生地。そのため、木村さんは裁断に使うハサミにこだわりがあります。少し落としただけでも切れが悪くなるため、常に予備のハサミを用意。また、他県まで行き、信頼する刃研職人に研んでもらっています。愛用のハサミを手に入れた木村さんは「大胆かつ繊細に！」に生地を裁断しています。



平成30年度
認定
婦人服



和服をリメイクした婦人服

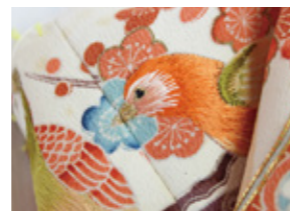
洋服をつくっているのですが、結婚披露宴に着て行かれる予定とのことで、その日が楽しみです。

■ 微妙な手加減でフィットさせる縫いの技

リメイク品の製造工程は、和服をほどこところから始まります。続いて地直しで布のゆがみを取り除きます。そして柄合わせを行い服全体の柄の配置を考えます。柄が決まれば生地を裁断し、仮縫いを経て本縫いへと進みます。

本縫いにはミシンを使いますが、布を押さえたり、伸ばしたり、縮めたりといった縫い手の微妙な手加減によって、出来上がりは全く違ってしまいます。それはやはり経験を積み重ねて、感覚で覚えるしかないのだと思います。例えば、襟が合わない服を着ただけで、人間は肩や首が疲れてしまうものです。体に負担をかけることなく快適に着られる優しい服にしたいので、採寸などを通じて把握したお客様の体型を常に頭に入れながら、フィットさせることを心がけています。

現在、私は後進の育成にも取り組んでいます。技能検定1級の取得などを目標に洋裁の初歩から指導していますが、やがて教え子たちが一人前になり、今度は指導者として洋裁やオーダーメイドの楽しさや魅力を発信してもらえたらうれしいですね。



クチバシ等、細かな柄を合わせていく

【技能検定 婦人子供服製造(婦人子供注文服製作作業)】

婦人子供服製造(婦人子供注文服製作作業)は、婦人子供注文服を製造するために必要な技能・知識を対象としています。婦人子供服製造にはその他、婦人子供既製服パターンメイキング作業、婦人子供既製服縫製作業の2作業があります。

木村由記子/モード・由記

〒039-1161 青森県八戸市大字河原木字高館前29-5
TEL 0178-20-2514

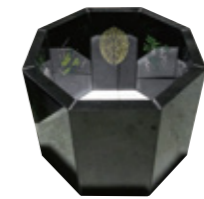
技 GOOD SKILL 事例 2



親子2代で つくり上げる 墓石と石材製品

石の浄朝 有限会社
吉田 朝夫 (よしだ あさお・左)
吉田 朝頼 (よしだ ともよし・右)

平成30年度
認定
石材製品



やすらぎ石室



浄音塔

吉田 朝夫 (よしだ あさお)

平成16年、石の浄朝を創業。平成21年度・22年度山形県美術展工芸の部委嘱作家、2013年度「山形エクセレントデザイン」受賞、墓地景観創造研究会代表

吉田 朝頼 (よしだ ともよし)

平成18年、石の浄朝に入社。平成16年度「第42回技能五輪全国大会(石工職種)」銀賞、毎年出品している「山形県総合美術展」では入選のほか山形放送賞を受賞

■ 土地の景観に溶け込む墓石

吉田朝夫 私が仕事でこだわっているのは、墓石の前面にある文字は肉筆をもとに手で一文字一文字彫り上げ、一度使用した文字は絶対に使い回ししないことです。それも、お客さまに感動を与える仕事をしたいという点にあります。地元山形産の石を使うことにもこだわっています。墓石は風景の一部。いたづらに大きさや豪華(ごうしゃ)さを競うのではなく、その土地の景観に溶け込むようにあるべきだと考えています。そのためには、山形の風景を形づくってきた蔵王石、最上石や高畠石を使うことが大切なのです。

吉田朝頼 中学の頃から社長である父の仕事を手伝っているうちに、自然と自分も石工として働くことを考えるようになり、職業訓練校で4年間基礎を学びました。訓練校では建築関係の仕事を中心に手がけており、墓石の仕事に本格的に取り組むようになったのは、帰郷してからでした。親の真似とは思われたくなくて、あえて父とは異なる作風を志向していた時期もありましたが、ようやく自分の思いをかたちにできるようになりました。今は

こだわりの美術展出展

朝夫さんは18歳の時、山形県総合美術展に石材彫刻を出展し、今では数々の受賞歴があります。「技能と意思の両方を磨くため、商売を離れた作品づくりは貴重な機会」と話し、長男、次男にも勧められています。「親子でも作風が異なるのが面白い。私の現在の目標は一刀彫りの円空仏のような作品。ありったけの魂をシンプルな造形の中に閉じ込めてみたい」。



朝夫さんが手がけた「最上石念仏」

仕事や作品製作が楽しい時期ですが、一方でまだまだ技能を向上させたいという思いもあります。

■ 親子で仕上げる「やすらぎ石室」と「浄音塔」

吉田朝夫 石の浄朝では、墓石以外の商品開発にも力を入れています。「やすらぎ石室」もその一つ。高松塚古墳やキトラ古墳の壁画に着想を得て、20年前に開発しました。石室はあまり人の目に触れるものではありませんが、お骨を収めるお墓でもっとも大切な場所ではないかと私は思います。「やすらぎ石室」の壁画は、永遠の眠りにつづいた故人を見守るため、何十年、何百年も鮮やかさを失わないよう、金箔や工夫を重ねた塗料をオリジナルの技法で仕上げています。当初は4面の壁画でしたが、現在は花卉が8枚ある蓮華(れんげ)にちなんで8面が標準仕様です。壁画を描いているのは長男と次男で、二人とも安心して任せられる技能を身に付けてくれました。

お墓前面の灯籠の代わりに設ける「浄音塔」は、江戸時代から続く鋳物業の会社とのコラボ商品として開発しました。青銅の梵鐘(ぼんしょう)との組み合わせは、独特の柔らかな風合いを持つ最上石の魅力を最大限に引き出してくれたと思います。梵鐘はたいへん美しい音色を持ち、多くのお客さまから喜ばれております。



【技能検定 石材施工(石材加工作業)】

石材施工(石材加工作業)は、霊園、神社・仏閣、庭園、建物彫刻で使用される石材加工作業の技能・知識を対象としています。内容は、段取りや石材加工、石製品の据付け、石材の重量判定、積算などの作業と、石材施工法一般や材料などの知識が含まれています。その他に、石積み作業、石張り作業があります。

吉田朝夫、吉田朝頼/石の浄朝 有限会社

〒990-0351 山形県東村山郡山辺町大字築沢3083-3
TEL 023-666-2318
HP <http://yasuragiisimuro.com/>



睡眠に安らぎを届けるオーダーメイドの寝具

トータル寝具ショップ のはら
野原 久義 (のはら ひさよし)

1958(昭和33)年創業の「トータル寝具ショップのはら」2代目。平成27年度黄綬褒章、平成21年度卓越した技能者(現代の名工)、平成17年度全技連マスター、平成17年度東京マスター(東京都優秀技能者)、昭和54年度一級寝具製作技能士

■ お客様にあわせた「かまぼこ形」の敷布団

「トータル寝具ショップ のはら」は、敷布団、掛布団、枕、座布団などの寝具全般を製作しています。敷布団は睡眠の質を左右するため、お客様の要望にあわせてオーダーメイドでも布団を製作しています。

人が寝たときに敷布団に掛かる体圧の分布として、一般にその体の部位に占める重さの割合は「頭部8%、胸部33%、腰部44%、足部15%」といわれています。快適な睡眠を取るには、寝た時に、背骨を真っ直ぐに伸ばすことのできる適度な弾力性が必要なのです。体圧は人によって微妙に異なるため、製作の際、必ずお客様へのヒアリングを行います。それを計算した「体圧配慮形」にするため、身長、体重、スポーツの経験、腰痛の有無など、体に合うよう綿の量や高さを調整しているのです。寝室環境も聞き、例えばフローリングの場合は、布団の下にマットレスを推奨するなどの提案もしています。

敷布団は正面から見ると「かまぼこ形」になっており、体圧が集中する中央部分だけがへこまないように厚みを持たせています。それにより、体圧がかかっても背骨がまっすぐに伸びた理想の姿勢で眠ることができます。腰痛や不眠

こだわりの インド綿

野原さんがこだわるインド綿は腰が強く、長く快適に使用できます。綿花は植物性のため、アレルギーになりにくく、天日干しすることで快適に使用でき、身体に優しい素材です。どうしても長く使っているうちに硬くなってしまうので、打ち直して、快適さを維持する必要があります。敷布団で使えなくなったら、座布団などに転用が可能で、繰り返し使用できるので、コストに優れ、環境にも懐にも優しい素材といえるでしょう。



かまぼこ形の厚みを出すため、通常、1枚の敷き布団に6kgのインド綿を使用

平成30年度
認定
寝具製品



オーダーメイドの敷布団



で悩む多くのお客様から、「ぐっすり眠れて感動した」「もっと早く知りたかった」という声をいただくことがあり、そうしたありがたい言葉に私の技術は育てられてきました。

■ 寝心地と美しさを求めた綿入れの技

敷布団には、高級なインド綿を使用しています。弾力性や保温性、通気性、吸湿性など、優れた特性を持ち合わせた素材です。自然素材のため、硬さなど微妙に個体差があり、まずそれを手触りで確かめながらより分け、硬さにあった場所に使っていきます。次の綿入れ作業では、綿を縦方向と横方向を交互に何層も重ね合わせてます。ここで用いるのが、綿を削ぎ合わせながら、しっかりと絡み合わせる「交叉台張り」という独自の技術です。それによって、耐久性を高め、かまぼこ形になるよう綿を重ねていき肩や腰の部分に厚みを出していきます。

私を作る敷布団は非常に厚みがあるため、「おくりかえし包み」という自ら考えた技を使い、畳み込むように綿を布団カバーに入れていきます。最後に綿のしわを伸ばし、生地と密着させて仕上げとなります。ここまでくると、100mを全力疾走するのと同じぐらい体力を使うのと、仕上げ段階に極めて繊細な調整を伴うため、1日に3枚製作するのが限度ですね。



【技能検定 寝具製作 (寝具製作作業)】

寝具製作(寝具製作作業)は、ふとんの製作に必要な布の裁断・縫製・わた入れ作業、仕上げ作業、加工見積りなどの製作作業に関する技能・知識、各種寝具製法、材料、安全衛生などを対象としています。

野原 久義 / トータル寝具ショップ のはら

〒242-0005 神奈川県大和市西鶴間5-7-7

TEL 046-261-2768 HP <http://nohara.life.coocan.jp/>



お客様の理解から始まるれんが積みとタイル張り

大野タイル工事店
大野 繁幸 (おおの しげゆき)

昭和50年、大野タイル工事店を創業。平成28年度ものづくりマスター、平成14年度神奈川県優秀技能者、平成28年「日本建築士学会」学会賞、平成23年度相模原市技能功労者、(一社)日本タイル煉瓦工事工業会会長、(一社)神奈川県タイル煉瓦協会理事

■ 歴史的な建物や設備に学べれんが積み

れんがは、時間が経つと苔が生えてきたり、色が白っぽくなったりと味わいが出てくるのが魅力で、ズラリと並んだ姿は、他の素材にはない重厚感があります。

れんがは耐震基準の関係で新築の構造部分には使えないため、低い壁、花壇(かだん)などで使用されています。ただ、明治時代など昔につくられた建物の中には、れんがづくりのものがいまだに残っているんです。そうした歴史的な建物の修復に関わることは、勉強になりますね。

一方で、難しさもあります。以前、明治初期に建造されたれんがづくりの煙突を修復した時のことです。歴史的な設備だったため、れんがを極力再利用しなければならぬので、解体前に全てのれんがに番号を振っておく必要がありました。れんがは一つずつ微妙にかたちが違うため、置く場所が変わると元通り組み上げることができないのです。修復にはそうした手間があります。また、一度経験済みの作業は問題なくこなせますが、歴史的な建物や設備の修復は何度もあるものではありません。当時の図面が残っていないものがほとんどですから、一度きりの作業と思って集中して取り組む必要があります。

緊張感という点では、新しいものをつくる際も同じな

こだわりの コテ

「コテ一本で稼ぐ」職人の生き方に憧れ、コンピューター・プログラマーから転身した大野さん。最初に買ったという思い出のコテは、長年だんご張りに使用していたため、親指が当たる把手の部分がすり減っています。最近では、だんご張り施工が少なくなったため、把手がすり減る事が無くなり、丸いかたちを保つようになったといいます。



平成30年度
認定
タイル張り工事
れんが積み工事



タイル張りの洗面台



れんが積みの塀

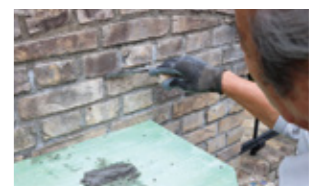
のかもしれないね。どうすればお客様に喜んでもらえるのかと、常に責任感を持って仕事に臨んでいます。

■ お客様の“要望超え”を目指すタイル張り

タイルは外装材、床材や内装材など様々な用途で使われています。昔は、コテで下地となるモルタルを塗り、その上からタイルを張っていました。今は接着剤を使う工法が一般的で、簡略化されかつ短時間で作業できます。しかし、厚みの異なるタイルを表面の位置を揃えて張るなど、下地の厚みを自由に変えられるモルタル張りでなければできない施工もあります。お客様の要望に応じていくためには、様々な施工方法を習得しておく必要があるでしょう。

例えば、タイルの裏にモルタルを付けながら、下から上へと積上げるように張り付けていく「積上げ張り(だんご張り)」の技能があれば、曲面のタイルも扱えるようになります。お客様への提案の幅も広がります。

私はお客様のことを理解した上で、要望を超えるものを提案し、完成までお客様と一緒に取り組むことこそが、仕事の醍醐味だと考えています。自らが積極的に提案するというのは、絶対に失敗できないという“不安”を伴うものです。裏付けとなる技能も伴わなければいけません。そうした仕事の醍醐味と覚悟、それを支える技能を伝えることも私の大切な務めだと考えています。



【技能検定 タイル張り(タイル張り作業) / れんが積み(れんが積み作業)】

タイル張り(タイル張り作業)は、タイル工事段取り、張付け材料の調合・混練、製図、関係法規などタイル工事の施工に必要な技能・知識が対象です。れんが積み(れんが積み作業)は、施工法や材料、建築構造、製図などれんが積み工事の施工に必要な技能・知識を対象としています。

大野繁幸 / 大野タイル工事店

〒252-0327 神奈川県相模原市南区磯部1436-7

TEL 046-254-8591



「ゴム印」「木口」の二刀流が彫り上げる印章

有限会社 国峰印房
國峯 伸之 (くにみね のぶゆき)

昭和41年創業の「有限会社国峰印房」2代目。平成25年度ものづくりマイスター、平成27年度横浜マイスター、平成8年度「技能グランプリ(印章ゴム彫刻職種)」労働大臣賞、平成18年度「技能グランプリ(印章木口彫刻職種)」厚生労働大臣賞、神奈川県印章業組合連合会副会長

■ 彫る前に出来が決まる木口彫刻の印章

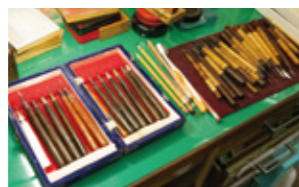
私で二代目となる「国峰印房」では、木口彫刻による実印や会社印、銀行印、認印と、手彫りゴム印を手掛けています。木口彫刻とゴム印彫刻の両方を手がける職人は少ないのですが、私は父が両方手がけていたこともあり、自然とどちらでもできるようになりました。

その内、木口彫刻の印章でキモとなるのは、文字のバランス(配字)と正確な書体ですね。意外かもしれませんが、印章の出来は彫る前に8割方決まってしまうのです。美しい配字とは、印面の小さな中に文字がゆったりと大きく見えている状態。それには、印面全体を俯瞰(ふかん)して配字を考えなければいけません。例えば、4文字を使用する際、単に4等分して配置するのではなく、画数の多い文字は大きめ、少ない文字はやや小さめに、といった調整をします。全体を見て調整を行うことで、まとまりのある良い配字となるのです。

正確な書体を使用するためには、古代中国発祥の漢字と書道に関する広範な知識が必要になります。紀元前からある篆書(てんしょ)という書体の場合、1つの線を上に曲げるか、下に曲げるかというわずかな違いで全く違う字に

こだわりの 印刀

印章彫刻士の世界では刀の研ぎ具合を見れば、その職人の力量がわかるとされています。國峯さんは、木口彫刻で粗彫り刀8本と仕上げ刀3本、ゴム印彫刻で切り回し刀を3本とさらい刀1本をメインに使っています。数種類の砥石を使い分けながら研ぎ、どの印刀も常に最高の切れ味を保つように心がけているといいます。



平成30年度
認定
印鑑



木口彫刻の印章



なってしまうこともあるのです。そのため、現在も私は漢字に秘められたルーツや歴史などを探求しています。こうした技能も知識も、すべてはおお客様の要望に応えるためのもの。柔和な雰囲気の人にはやわらかな線の書体を、銀行員の方などには重厚感のある書体を、と使う人の個性に合った印章をお渡し、ご満足いただくことが私の仕事だと考えています。

■ 心の目で彫るゴム印彫刻

ゴム印彫刻による印章のつくり方は、木口彫刻と全く異なります。

まず、和紙に文字を墨で書き、ゴム板に転写して切れ味が良い専用の切り回し刀で集中力を切らさず一気に切っていきます。大切なのは、刀は止めたまま、印面の方を動かして切る点。刀を動かすとどうしても印面に対する角度が微妙に変わってしまいます。そのちょっとした変化が、柔らかいゴム板では大きな狂いとなって表れてしまうのです。

木口彫刻と違って途中や最後での修正ができないため、少しでもミスをすれば最初からやり直しと、まさに一発勝負。肉眼で確認しにくいコンマ何ミリという細かい部分も、心の目で見ながら切っています。「見えていないのに見えている」と感覚的で言葉では説明しづらい部分ですね。これまで様々な方を指導した経験を通して、そうした感覚の部分も、練習の積み重ねによって技能とともに磨くことができると感じています。



【印章彫刻(木口彫刻作業)(ゴム印彫刻作業)】

印章彫刻には、印材として牛角、水牛の角、柘(つげ)などを使用して印面彫刻を行い、印章を作成するのに必要な技能・知識を対象とする木口彫刻作業と、ゴム板を対象とするゴム印彫刻作業があります。

國峯伸之 / 有限会社 国峰印房

〒232-0061 神奈川県横浜市南区大岡2-13-36
TEL 045-731-5137 / FAX 045-715-5730
HP <http://www.kunimineinbou.co.jp/>



“まっすぐ”が紡ぐ「着物」の美

今西和裁
今西 渉 (いまにし わたる)

平成11年、「今西和裁」を創業。平成26年度ものづくりマイスター、平成16年「全国和裁技術コンクール」銀賞、平成17年「愛知県和裁技術競技会」優勝、平成30年度 石川県技能顕功賞知事表彰、NPO法人和装教育国民推進会議石川県支部長

■ 想像力を駆使して仕立てる着物

今西和裁は、長着や羽織、コート、帯、ストール、長襦袢、袴、和風小物などを製作しています。和裁では寸法通り仕上げるのが大切ですが、それだけでなく心がけているのがお客様一人ひとりに合った着やすい着物をお届けすることです。

着物は一つの反物を縫い上げてつくりだすのですが、反物は、蚕のマユから糸を取り出し、それを精練した後に糸を機織りし、さらに染色するなど実に様々な工程があってできあがります。それを最終的に着物として仕立て、お客様にお届けする役目を担っているのが私たち和裁士です。仕立ての際には、呉服屋さんなどから届く寸法をもとにしますが、書いてある通りにただつくことはしません。例えば、女性向けの着物の場合は、着付けの時に首の後ろにゆとりを持たせる「線越(くりこし)」を付けます。それを男性でも首が太い方には、ゆとりを持って着てもらうためにあえて提案することもあります。また、訪問着など柄のある生地の場合は、お客様の体型を見越してどのように前後の生地にある柄をどう合わせれば美しくなるのか考えて調整します。

こだわりの マント

今西さんは、和裁の伝統的な技能をものづくりマイスターなどの活動を通して広く伝える一方で、古くからある技能をもとに新しいことはできないか常に模索しているといいます。その一つの挑戦が着物用のマントです。新しいものと古いもの、和と西洋を組み合わせながら、和裁の未来を見つめています。



平成30年度
認定
和服



お客様の身長や手の長さ、腰回りといった情報をもとに想像を膨らませ、一人ひとりが着ていて快適で心からご満足いただける着物をお届けするのが自分の仕事なのです。

■ 着物の美しさを決める「地直し」

美しい着物をつくるためには、すべてを「まっすぐ」にすることが大切だと考えています。まっすぐな生地をつくり、まっすぐに印をつけて、まっすぐに縫う。どれも当たり前のように思うかもしれませんが、これが難しいのです。特にまっすぐな生地をつくるという部分は、「地直し」と呼ばれる最初の工程であり、一番気をつける部分でもあります。

反物に使われている絹は、汗をかいたり、雨で濡れたりして湿気を帯びると縮む性質があります。そこで、アイロンのスチームで着ている間に生地が縮むことがないように、蒸気の力をかけてあらかじめ縮ませておくのです。

同時に糸目がまっすぐになるよう伸ばしていきます。反物は織りたての時には生地は縦糸と横糸が直角に交わり、糸目も一直線に伸びていますが、それを染めたり、乾かしたり、様々な工程を経るうちに生地に歪みがでてきます。そうした歪みをアイロンやコテを使って整えていくのです。

後の工程には、柄の向きや組み合わせを調整したり、縫製などが続きますが、生地がまっすぐになっていなければ狂いが生じ、お客様に合った美しい着物はできあがりません。そのため、縫う前のこの工程が非常に重要になるのです。

【技能検定 和裁(和服製作作業)】

和裁(和服製作作業)は、和服の仕立てに必要な技能・知識を対象としています。採寸、裁断、縫製作業、仕上げなどの製作作業に関する技能・知識に加えて、材料、服装美学一般、安全衛生などに関する知識も含まれています。

今西渉 / 今西和裁

〒921-8025 石川県金沢市増泉1-14-5
TEL 076-244-6494



米粉と食感に こだわった起立する 「旬ロール」

Patisserie 旬
青木 旬弘 (あおき としひろ)

平成23年、「Patisserie 旬」を創業。
平成25年度 ものづくりマイスター、平成26年度 奈良県卓越技能者表彰、平成16年「奈良県洋菓子コンテスト」奈良県商工会議所連合会会長賞、平成18年「奈良県洋菓子コンテスト」金賞、平成28年「ならスイーツコンテスト」グランプリ

■ 米粉の絶妙な配合で「旬ロール」は起立する

「Patisserie 旬 (パティスリー シュン)」は、店名の由来ともなっている「旬」のフルーツを使った各種ケーキを提供しています。中でも、起立するユニークなロールケーキとして、お店の名物となっているのが「旬ロール」です。

“起立する”という着想には、修業時代に読んだ本で出会いました。通常ロールケーキは横に寝かされた状態でディスプレイされており、これまでたくさんのお店を巡りましたがいまだに起立するものは見たことがありません。そのユニークな姿をいつか自分の手で商品化したいと考え、旬ロールを開発しました。

もちろん味にもこだわっています。特徴は、起立するほどのふっくらとした生地と、もっちりとした食感。それらを両立させる秘密は、米粉と小麦粉をミックスした生地にあります。この配合が非常に難しく、米粉が多すぎると生地の焼き上がりが膨らまず、少なすぎるともっちりとした食感が出せません。何通りもの配合を試した結果、ふっくらもっちりを両立させる「米粉1、小麦粉3」というベストの比率にたどり着きました。

いまではユニークな見た目と、こだわりの味によって人

こだわりの 米粉

お店をオープンする際に目玉商品をつくりたいと考え、注目をしたのがケーキの材料としては珍しい米粉でした。それに加え、「ジャパン・ケーキショー東京」というコンテストに、米粉を使ったお菓子の部門があったことも理由のひとつです。旬ロールは、地元奈良県産の米粉を使用し、地産地消のケーキとなっています。



旬ロールでは、米粉と小麦粉をミックスして使用

平成30年度
認定
洋菓子



気商品に成長し、お店に入るなり、「旬ロール！」と第一声で指名してくれるお客さんもいます。お客さんに喜んでもらえるのは、本当にうれしいことです。これからも皆さんに幸せを届けられるように、技能の向上に取り組みでいきたいと考えています。

■ 粉ふりも砂糖も普通のケーキと違う

旬ロール(プレーン)は食感にこだわり、製作工程に様々な工夫を凝らしています。

ケーキをつくる際、ダマにならないように粉をふるいにかけてますが、多くのお店では1回しかやりません。旬ロールは必ず2回ふるいにかけ、粉をより多くの空気に触れさせてダマを無くすことで食べたときの口当たりを良くしています。生地に混ぜる砂糖も一味違います。ケーキづくりではグラニュー糖を使うのが一般的ですが、それより結晶が細かい上白糖を混ぜることで、しっとりした食感を演出。さらに、同じ目的で保湿性の高いみずあめも加えています。

生地に塗る生クリームも当店のものは、少し変わっています。砂糖に加え、他店では珍しい練乳を加えているのです。それによって、なめらかな食感と少しあっさりした味に仕上がっています。

また、旬ロールは、プレーンに加えてイチゴ味、抹茶味、チョコレート味という計4つの味があります。イチゴ味の生地にはハチミツを入れてコクを出すなど、味ごとに細やかな調整も行っています。



【技能検定 菓子製造 (洋菓子製造作業)】

菓子製造職種(洋菓子製造作業)は、スポンジケーキ、パイ、ビスケットなど洋菓子を製造するのに必要な技能・知識です。生地調整、成形加工、熟加工、仕上げ、デザインなどの製造作業に関する技能・知識などを対象としています。菓子製造職種は、他に、和菓子を作る和菓子製造作業もあります。

青木 旬弘 / Patisserie 旬

〒639-1134 奈良県大和郡山市柳町77-1
TEL 0743-52-3340



100分の1ミリの 精度までこだわった 組子細工の建具

舟木木工所
舟木 清 (ふなき きよし)

昭和36年に「舟木木工所」を創業。
平成26年度 黄綬褒章、平成23年度 卓越した技能者(現代の名工)、平成25年度 ものづくりマイスター、平成21年度 全技連マイスター、島根県技能士連合会副会長、島根県建具協同組合相談役

■ 100分の1ミリの加工精度が求められる「組子細工」

「舟木木工所」は、組子細工を使用した衝立や屏風、スクリーン、欄間飾りなどの木製建具を手加工で製作しています。私は、小さな木片で幾何学的な文様を生み出す組子細工に、和風建築はもちろん、現代建築にも調和するデザインを生み出し、新たな価値を付け加えたいと考えています。組子細工の魅力は、木が織りなす幾何学文様の美しさにあります。時に何万という木片を組み合わせて緻密な文様を表現するため、わずかなズレも許されません。寸法や接合面の角度は、100分の1ミリの精度で加工しないと組み上がらなくなるため、私は微妙な力加減を正確に伝えられるように複数のカンナを使い分けて加工しています。

木材の選定や乾燥も重要です。組子細工には、樹齢100年以上の杉やヒノキで年輪の間隔が狭いものが最も適しています。その間隔が狭くなればなるほど、歪みや狂いが少なくなるのです。木材は乾燥する過程で変形するため、加工する前に最低でも2年かけて余分な水分を抜き、状態を安定させておくことも欠かせません。

現在、私は組子細工の小型化に力を入れています。小さくなるほど難しくなりますが、身近かつ手ごろな小物やアクセサリーをつくることができ、より幅広い世代に親んでもらえるでしょう。何よりも、どこまで組子細工を小さ

こだわりの 文様

組子細工の文様は、伝統的なものをもとに今も様々なバリエーションが生み出されています。舟木さんが得意にしているのが、「目潰し本籠目(めつぶしほんかごめ)」という文様です。これは、3本の木片が竹で編んだ籠の目のように組み合わせられたもので、複雑な形状を作り出すために高度な加工技能が要求されます。



欄間に使われた目潰し本籠目

平成30年度
認定
木製建具



製品横に飾られたグッドスキルマークの認定証



くできるのか、自らの限界に挑むことを楽しんでいます。

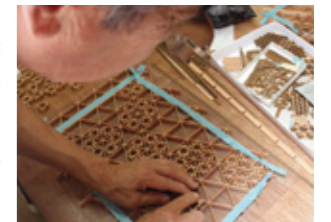
■ 複雑な「木を編む」技法は最初が肝心

組子細工の技法は、「木を編む」と表現されることもあります。私は、釘や接着剤は使わずに、糸で布地を編むように小さな木同士をいくつも交差させて様々な文様を表現しています。

まず木材を工作機械で、厚さ2ミリ、1ミリといった薄さに長細く切り出します。部材の加工精度は仕上げに大きく影響するので、機械任せにはできません。切り出した木片の幅をノギスという物差しを使って測り、誤差がゼロになるまで調整します。最初の精度が高いほど後の工程も楽になり、仕上がりが美しくなるのです。

次に木片に墨付けを行い、それに従ってノコギリで切り込みを入れていきます。組子細工の基本は「三つ組手(みつくで)」というものです。1本では強度のない木片を、切り込みに合わせて差し込んでいき、3本で1組にすることで強度を出しながら、文様部分やそれを入れる枠の部分「地組み」をつくります。最後に、文様部分を手や金づちなどで地組みにはめ込み、組子細工は完成します。

昔の職人は完成させて終わりでした。しかし、私はその技能を後進に伝えるため、学校での授業や若者の職業体験などを積極的に進めています。それが今を生きる技能士の務めだと考えているからです。



何万という木片の組み合わせが美しい文様を生み出す

【技能検定 建具製作 (木製建具手加工作業)】

建具製作(木製建具手加工作業)は、建物の外部で使用される建具(出入り口など)、内部用のもの(襖、紙貼り障子、欄間など)を手加工で製作するのに必要な技能・知識を対象としています。建具製作は他に、機械を使用する木製建具機械加工作業もあります。

舟木 清 / 舟木木工所

〒699-1122 島根県雲南市加茂町三代525
TEL 0854-49-7301



町の鉄工所の 総合力が生んだ特厚 バーベキューグリル

有限会社 福島鉄工所
福島 弘士 (ふくしま ひろし)

昭和59年創業の有限会社 福島鉄工所の2代目。
平成13年度 機械加工(フライス盤作業)1級技能検定に合格。特
殊用途向け単品生産の精密機械加工、切削機械加工を得意とする。

■ 美味を追求した特厚のバーベキューグリル

福島鉄工所は、フライス盤や旋盤などの技能を用いた精密部品などの切削加工業、小型製缶、機械要素の修理、補修を手掛けています。その中で、独自商品として展開しているのが、デスクにもなるユニークなガスコンロ用バーベキューグリル「グリルデスク」です。この商品は私の趣味から生まれました。

私はアウトドアが好きで、仲間や家族とキャンプを昔から楽しんでいます。仕事柄、知人から頼まれてバーベキュー用鉄板をつくるようになり、とても好評だったので、平成26年からグリルデスクとして本格的に製造を始めました。

グリルデスクの特徴は、9mmもある特厚鉄板です。一般的なバーベキュー用鉄板の厚みは、2~3mm程ですが、グリルデスクはその3~4倍の厚みがあるため、蓄熱量が高く、焦げにくい。料理が冷めにくいので、とてもおいしくいただけます。その分、鉄板が重くなりましたが、デスク状にして強度を確保し、足には車輪をつけ、容易に持ち運びできるようにしました。美味を追求するBBQファンが、一生使えるバーベキューグリルになっていると自負しています。



こだわりの 黒皮鉄板

福島さんが、数ある鉄の中からグリルデスクの鉄板に選んだのは、「黒皮鉄板」という種類。黒い酸化膜が表面を覆う「黒皮鉄板」は、油馴染みがよく、手入れがしやすいので、調理用の鉄板としては最適なのだといいます。



黒皮鉄板は、油馴染みがよく、手入れがしやすいので、調理用の鉄板としては最適なのだといいます。

平成29年度
認定
バーベキュー用
鉄板セット



グリルデスク

■ お客様の要望・用途に応える総合力

福島鉄工所は、創業した父以来、町の鉄工所として、近所の農家から持ち込まれる、鍬(くわ)などの農機具の溶接修理から、企業から依頼される精密機械の加工まで、依頼に応じて様々な業務に対応してきました。そこで培われた総合力が、グリルデスクの製造でも活かされています。

例えば、グリルデスクの鉄板はフチが直角で、コテをあてやすくしています。通常、プレス加工で鉄板をつくるため、その角度に多少のばらつきが出るのが普通です。その点、私は溶接で正確につなぎ合わせており、どのフチの部分も直角に仕上がっていて、誰でも調理しやすい鉄板となっています。鉄板の取手は握りやすいように、フライス盤で曲線加工を施すなど工夫をこらしています。

用途に合わせて、溶接や旋盤、フライス盤を使い分け、品質とコストパフォーマンスを考慮しながら製作できる。しかも、自社で一貫加工するので、お客様のご要望に応じて、1点1点オーダーメイドで対応できるのも、様々な製品作りで培った経験がある鉄工所だからこそ実現できたと考えています。

ただ、これからの時代は、職人として優れた技能があるだけでは通用しません。ITの知識、コスト感覚やコミュニケーション能力など、トータルな人間力が技能者にもあたりまえに求められていると思います。さらに研鑽を積み、特級技能士を目指すとともに、自らの実践を通して新しい職人像を次の世代に受け渡すことができればうれしいですね。

【技能検定 機械加工(フライス盤作業)】

機械加工(フライス盤作業)は、フライスと呼ばれる切削工具を回転させながら切削加工を行うフライス盤に必要な技能・知識を対象としています。機械加工は他に、普通旋盤作業や平面研削盤作業など22の作業があります。

福島弘士/有限会社 福島鉄工所
〒719-3141 岡山県真庭市上市瀬 549
TEL 0867-52-0492 FAX 0867-45-0495
MAIL info@fukushima-iw.com HP http://www.fukushima-iw.com/



デザイン性と 耐久性を両立させた 婚約・結婚指輪

カンダエステム 株式会社
倉田 信二 (くらた しんじ)

平成8年、菅田株式会社入社。平成29年、カンダエステム株式会社取締役就任。
平成25年度 貴金属装身具製作(貴金属装身具製作作業)1級技能検定に合格。平成26年度 貴金属・宝石科職業訓練指導員、同年度ものづくりマイスター、平成28年度 岡山県優秀技能者

■ 扱いの難しい半貴石を使った親型づくりの技能

グッドスキルマークを取得したのは、私がデザインした自社ブランドの婚約・結婚指輪「フローリア(Fleurir)」シリーズです。

このシリーズは、12個の誕生石からカップルが好きなものを選び、それぞれの指輪の内側に2つずつはめ込むことができます。2人の人生が花開く瞬間を、お互いが選んだ指輪で彩れるようなデザインになっているのです。そんな思いを込めて、開花という意味を持つ「フルリール(fleurir)」というフランス語をもとに、「フローリア」と名付けました。

誕生石として使用するのは、小型の貴石(ルビーなど)と半貴石(アメジストなど)です。半貴石はかたがたバラバラな上に割れやすく、扱いが難しい素材です。それを指輪の内側に、しかも2つ入れるためには、非常に繊細な作業が要求されます。

モデルごとに製造方法を変えており、幅の狭いリングには強度を出すのに優れた鍛造を、幅に余裕のあるものにはデザインの自由度が高い鋳造を採用するといった工夫をしています。

誕生石を2つ入れるためには、リング自体の強度も確保

こだわりの サンプル

宝飾店の店頭には必ず並ぶ商品サンプル。本物の材料を使用し、売ることできないため、お店の大きな負担になっているといいます。それを、お店で修理も行う倉田さんは小売業者の視点で改革。商品サンプルに本物(プラチナ/ダイヤ/ダイヤモンド)とそっくりの代替品を使用することで、コストを大幅に削減しました。



平成30年度
認定
宝飾品



フローリア(Fleurir)

しなければいけません。幅2mmという石を入れるギリギリの細さのものには厚みを持たせることで補強するなどの工夫をしています。

小さな半貴石は年々価格が上昇傾向していますが、これからも高品質のものを確保して加工職人の皆さんと一体となり、お客様の笑顔が花開くような製品を作り続けたいですね。

■ 早い段階で採算性の予測を可能にしたCADの導入

婚約・結婚指輪は“一生もの”の、大事な記念の品です。指輪を最終チェックする際には、宝石にある傷の有無や、振動で石が動かないかなど、専用の器具や機械を使って、丹念にチェックします。少しでも気になる点があれば、お客様の想いに応えられるように、完璧になるまで何度でも調整します。

親型の製造工程にも工夫があります。従来、指輪の親型は紙の図面をもとに手作業でつくっていたのですが、そこにデザインソフトのCADを導入しました。これは画期的なことだと自負しています。CADは指輪の立体画像をもとに緻密なシミュレーションができるため、従来出来上がるまで分からなかったデザイン性や耐久性をパソコン上で徹底的に追及できるようになりました。それによって失敗による手戻りが減った他、CADでは材質の重量なども分かるので事前に製品の採算性まで判断できるようになりました。

これからも、技能を大切に守りながら、新しいテクノロジーを取り入れたものづくりができる職人でいたいと思います。



【貴金属装身具製作(貴金属装身具製作作業)】

貴金属装身具製作(貴金属装身具製作作業)は、貴金属装身具の製作に必要な技能・知識を対象としています。糸のこ、やすりがけ、ろう付け、研磨などの貴金属装身具の細工・仕上げ、石留めに関する技能・知識を対象としています。

倉田 信二/Jewelry KANDA本店内 (カンダエステム 株式会社)
〒708-0841 岡山県津山市川崎 1902-3
TEL 0868-25-1231
HP(菅田株式会社) http://www.jkanda.co.jp/



「よし！ やってみよう」から 生まれる多彩な家具

高野家具製作所
高野 二郎 (たかの じろう)

鉄工所勤務を経て、別府市の家具製作所で12年間修業を積んだのち、昭和58年に「高野家具製作所」を創業。オーダーメイドの家具を手がける。平成27年度ものづくりマイスター、削ろう会大分支部代表

■ お客様とのコミュニケーションから生み出す製品

「高野家具製作所」は、テーブル、机、椅子、たんす、棚などの一般的な家具だけでなく、多様な製品をオーダーメイドで手がけています。家具類を中心に部屋を丸ごと設計施工したこともありますし、数年前には世界最大級の木製スピーカーを作りました。お客様から依頼があれば、全く経験のない仕事でも「よし！ やってみよう」と挑戦するのが私のポリシーです。

お客様とコミュニケーションを取りながら、それをかたちにしようと試行錯誤する中で新しいものが生まれてきます。例えば、「滑らないお盆が欲しい」というお客様の声を受けて作ったノンスリップ加工のお盆もその一つです。お盆の上にコップなどを載せて、かなりの角度まで傾けても滑り落ちません。その秘密は、塗装面に塗ったウレタンにあるのですが、塗る際の適切な温度や分量など苦労しながら探り当てました。塗料を塗った状態で60度の温度を数時間保つのがポイントで、箱の中にお盆を入れてドライヤーで温める工法を考案しました。

素材にも工夫をこらし、中面には丈夫な杉などを使用。外面には加工しやすい桜を使用するなど材料にこだわるだけでなく、側面に割れ止めを施すなど、加工にも工夫しています。

こだわりの カンナ

高野さんは道具に徹底してこだわります。特にカンナは約200種を用意しています。三代目千代鶴延國などの高級品から、必要であれば手作りしています。大きさや形も多種多様な中から、材料や製品に最も適したものを使い分けています。使用前には必ず刃を研ぎ、台をていねいに調整します。職人の魂が宿った道具の数々です。



平成30年度
認定
家具等



ウォールナット材の
椅子と机

家具や工芸品は、使えば使うほど味が出てきます。自分が作った製品を気に入っていただいて、お客様と長いお付き合いができれば最高ですね。

■ 妥協を排した材料選びから加工

製品づくりは材料選びから始まります。失敗が許されないので厳しい目で選び抜かれます。木材は板を見て、手で触っただけで、その木の育ちや現在の状態がすぐにわかりますよ。材料が決まればデザインです。例えば、椅子なら座る方の体型なども考えながら快適性を追求します。また、歴史的な宝物からデザインのヒントをもらうこともありますね。奈良の正倉院には何度も足を運んで宝物を目に焼き付けました。加工工程では、のこぎりやカンナなどを使い、長年の経験で培った微妙な力加減や手さばきの技で、デザイン通りの形状に上げていきます。

塗装も重要な工程です。先ほど触れたとおり、ノンスリップ加工のお盆では、ウレタン塗装の上に特殊な塗料を塗って滑らない工夫をしました。お客様に満足していただくため、妥協は絶対にしたくありません。

現在、私は「削ろう会」の活動などを通じて技能の伝承に努めています。次の世代に日本の技能を伝えるとともに、家具や工芸品にまつわる素晴らしい日本文化を後世に残していきたいと思っています。



【技能検定 家具製作(家具手加工作業)】

家具製作(家具手加工作業)は、たんすや書棚のような「箱物類」、机や椅子に見られる「脚物類」といった家具を製作する仕事を対象としています。家具製作には、木工機械を使用して家具を製作するのに必要な技能・知識を対象とした家具機械加工作業もあります。

高野二郎 / 高野家具製作所
〒879-5521 大分県由布市挾間町鬼瀬770-10
TEL 097-583-5036



沖縄のビーグと 秘伝がつくりだす 黄金色の畳

大伸たたみ店
益田 伸次 (ますだ しんじ)

平成7年、大伸たたみ店を創業。平成30年度卓越した技能者(現代の名工)、平成25年度ものづくりマイスター、平成24年度全技連マイスター、沖縄県畳工業組合理事、全技連マイスター会沖縄県支部監事

■ 独自の方法で美しく仕上げた琉球畳

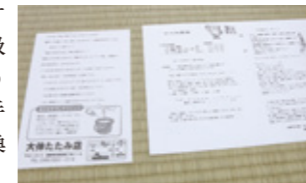
大伸たたみ店では、琉球畳(ヘリなし畳)をはじめ畳全般を製造しています。琉球畳は沖縄の伝統的な畳で、正方形(半畳)のものを方向を変えて敷くと市松模様に見えて美しく、近年は沖縄の若者にも人気があります。

琉球畳の畳表(ゴザの部分)の素材には、近年、紙製や樹脂製のものも登場していますが、昔から使われてきたのは沖縄県産のイ草「ビーグ」です。ビーグは、時とともに綺麗な黄金色になっていくのが魅力。また、本州のイ草と比べて3倍ほどある太さも特徴です。太くて硬いビーグは無理やり曲げるとすぐに割れてしまうため、従来は水を何度も付ける必要があり手間がかかっていました。それを何とかできないかと考え、私が開発したのが、スチームを当てて畳表を曲げる技法です。これにより、短時間かつ綺麗に仕上げることが可能になりました。

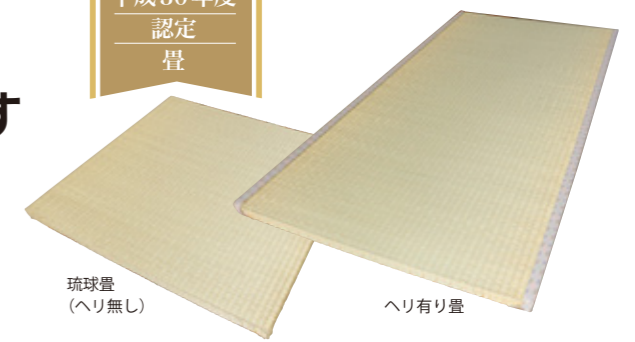
畳床(畳の芯になる部分)も、時代とともに変化しています。以前は稲わらでつくられていましたが、現在、沖縄ではダニが発生しにくい建材が主流。建材は、端の方が荷重でへこんだり、ちょっとした衝撃で欠けたりすることがあります。私は建材の端に補強材を入れたり、接着剤で補強したりするなど、お客様に畳を長くご利用いただけるよう工夫をしています。

こだわりの 取扱説明書

畳製作の技能継承は、まずお客様がいなければ成り立ちません。益田さんは、そのためにはお客様に手入れの方法など正しい知識を伝え、長く愛用してもらうことが大切だと考えています。そこで、畳を販売する際には、必ず自作の取扱説明書を手渡しているそうです。取扱説明書には、手入れの方法やカビの注意喚起がまとめられています。



平成30年度
認定
畳



琉球畳
(ヘリ無し)

ヘリ有り畳

■ 秘伝も包み隠さず後進に伝承

畳の製造で慎重に行うのが部屋の採寸です。家というのは、図面の寸法そのままではなく必ず歪みがあります。それを計算した上で畳の大きさを調整するのです。今はレーザーで簡単に採寸ができるようになりましたが、昔ながらの糸を使った方法も欠かせません。丸や三角形の部屋はレーザーでは計測できないからです。そういう現場では、私は糸や定規を使って二等辺三角形をつくりながら、部屋の歪みを割り出しています。こうした採寸方法は職人ごとに違い、昔は秘伝とされてきました。

採寸後は、それに合わせて畳床を切り、それに畳表を縫い付け、最後に琉球畳の場合はヘリを織り込み、ヘリ有り畳の場合はヘリを取り付けて完成です。畳づくりは機械化によって昔と比べて遙かに楽になりましたが、採寸と同様に、昔ながらの手を使った技能や知識という基本がなければ、高品質の畳をつくることはできないと思っています。沖縄には、手作業で畳をつくらなければならない離島もまだありますね。

畳職人であれば、採寸をはじめ皆独自の技能を持っています。昔は、糸を使った採寸をはじめ秘伝とされてきたものが多くありましたが、今は時代が違います。私は秘伝として伝えられてきたもの、新たに開発した技能や知識も包み隠さず後進に伝え、技能伝承に努めていきたいと考えています。



【技能検定 畳製作(畳製作作業)】

畳製作(畳製作作業)は、畳の製作、敷込み及び修理に必要な技能・知識を対象としています。内容は、畳製作の技能に加え、畳の敷込み・補修、積算・見積りなどに関する技能・知識、畳及び材料、施工法、建築概要、安全衛生などに関する知識も含まれます。

益田伸次 / 大伸たたみ店
〒901-2215 沖縄県宜野湾市真栄原1-11-5
TEL 098-890-1014

平成 29 年度 グッドスキルマーク認定製品 等

認定製品等に対応する職種		一級技能士等の氏名		都道府県名	製作事業者名	認定製品等の概要
職種名	等級	氏名	氏名			
家具制作	1級	井ノ上 浩二	井ノ上 浩二	埼玉県	有限会社 AZUMA	【認定製品等： ソファ】 天然素材のみで、座面の下ごしらえから座面を張るまでの作業を電動工具を使用せず手作業で製作したソファ
家具制作	1級	森 陽祐	森 陽祐	埼玉県		
家具制作	1級	井上 裕之	井上 裕之	埼玉県		
家具制作	1級	岡田 智樹	岡田 智樹	埼玉県		
機械加工	1級	福島 弘士	福島 弘士	岡山県	有限会社 福島鉄工所	【認定製品等：バーベキュー用鉄板セット】 精密機械加工の技術を活かした本格派バーベキュー用鉄板セット
印章彫刻	1級	塩屋 正晴	塩屋 正晴	石川県	塩屋印房	【認定製品等：印鑑】 お客様のお好みの書体で彫刻した印鑑
帆布製品製造	1級	牛垣 泉	牛垣 泉	岡山県	有限会社 ファインアートかわばた	【認定製品等：帆布製品】 帆布生地を使用したカバン等
塗料調色	単一等級	早川 裕樹	早川 裕樹	岐阜県	株式会社 アクト	【認定製品等：什器木目印刷塗装】 什器に独自に調色した塗料で木目等の印刷塗装を行った製品(店舗の陳列棚板、内装資材、オフィスロッカー等スチール、プラスチックダンボール等)
とび	1級	大木 孝一	大木 孝一	神奈川県	有限会社 鷹大木	【認定製品等：とび工事(基礎工事)】 とびにより施工された基礎工事
和裁	1級	牧野 俊一	牧野 俊一	愛知県	株式会社 藤和会	【認定製品等：和服】採寸、裁断、縫製作業までを一貫して行い、あつらえた和服
和裁	1級	牧野 守	牧野 守	愛知県	有限会社 牧野和裁	【認定製品等：和服】採寸、裁断、縫製作業までを一貫して行い、あつらえた和服
表装	1級	飯島 勇	飯島 勇	東京都	有限会社 インテリアアイジマ	【認定製品等：壁装】 布、ビニル、紙等の壁紙を張りつける壁装施工
婦人子供服製造	1級	鶴丸 禮子	鶴丸 禮子	大分県	—	【認定製品等：婦人子供服】 婦人子供服(ジャケット・ワンピース・スカート等)
家具製作	1級	上柳 征信	上柳 征信	東京都	株式会社 I.S.U.house 上柳	【認定製品等：椅子】 ロココ時代の伝統的な手作業により製作された椅子

厚生労働省報道発表資料(平成30年3月23日)を元に作成。

平成 30 年度 グッドスキルマーク認定製品 等

認定製品等に対応する職種		一級技能士等の氏名		都道府県名	製作事業者名	認定製品等の概要
職種名	等級	氏名	氏名			
造園	1級	森 陽一	森 陽一	福岡県	株式会社 森園芸場	【認定製品等：日本庭園】 日本庭園(流れ、竹垣、延べ段、園路等)
建築板金	1級	小野 隆司	小野 隆司	青森県	有限会社 小野商会	【認定製品等：手振り鉦】手振り鉦
石材施工	1級	吉田 朝夫	吉田 朝夫	山形県	石の浄朝 有限会社	【認定製品等：石材製品】 石材製品(納骨堂及び石塔)
石材施工	1級	吉田 朝頼				
石材施工	1級	平井 親志	平井 親志	熊本県	平井石材店	【認定製品等：石材製品】墓石(和式、洋式)、 灯籠、彫刻品、その他石材を加工した小物
建築大工	1級	加藤 泰久	加藤 泰久	愛知県	ながら・加藤建築株式会社	【認定製品等：日本家屋住宅】 一般住宅(日本家屋住宅)
タイル張り	1級	大野 繁幸	大野 繁幸	神奈川県	大野タイル工事店	【認定製品等：タイル張り工事】 タイル張り工事
れんが積み	単一等級					【認定製品等：れんが積み工事】 れんが積み工事
配管	1級	大谷 恵司	大谷 恵司	徳島県	中筋建工株式会社	【認定製品等：配管工事】 建設工事における配管工事
配管	1級	瀬谷崎 政芳				
配管	1級	中谷 久信				
塗装	1級	本間 博士	本間 博士	埼玉県	奎和(Kiwa)工房	【認定製品等：木製家具の塗替え】 木製家具の塗替え(テーブル・椅子・収納家具)

認定製品等に対応する職種		一級技能士等の氏名		都道府県名	製作事業者名	認定製品等の概要
職種名	等級	氏名	氏名			
広告美術仕上げ	1級	原田 勝行	原田 勝行	岡山県	サンエー美工有限会社	【認定製品等：広告面粘着シート仕上げ】 広告面粘着シート仕上げ
鑄造 金属溶解	特級 1級	定塚 康宏	定塚 康宏	富山県	有限会社 北辰工業所	【認定製品等：洋食器等】美しい錆肌を持つ現代ライフ スタイルに調和する洋食器・リサイクル素材である再生 アルミニウムによる砂型鋳物製品
機械加工	1級	鈴木 敏士	鈴木 敏士	岡山県	池田精工株式会社	【認定製品等：プレミアムバルブ】 腐食環境に強いプレミアムバルブ
機械加工	1級	高尾 嘉晃				
菓子製造	1級	隅田 和男	隅田 和男	北海道	有限会社 ステラ・マリス	【認定製品等：シュガークラフト】 シュガークラフト
菓子製造	1級	神山 典之	神山 典之	福島県	かど屋 神山菓子店	【認定製品等：和菓子】 和菓子(焼菓子、餅菓子、饅頭等)
菓子製造	1級	岡崎 欣浩	岡崎 欣浩	石川県	お菓子処 佐古庵	【認定製品等：和菓子】 和菓子(餅菓子、蒸し菓子、焼菓子等)
菓子製造	1級	八野田 聡	八野田 聡	石川県	有限会社 八野田 御菓子司 八野田	【認定製品等：和菓子】 和菓子(焼菓子、餅菓子等)
菓子製造	1級	青木 旬弘	青木 旬弘	奈良県	Patisserie 旬	【認定製品等：洋菓子】洋菓子(洋生菓子)
菓子製造	1級	山口 秀之	山口 秀之	岡山県	有限会社 アンジェ	【認定製品等：洋菓子】洋菓子(ケーキ)
菓子製造	1級	山本 隆之				
菓子製造	1級	青野 光治	青野 光治	佐賀県	テーマパティシエール ブルーシャン	【認定製品等：洋菓子】 洋菓子(トリュフ及び生チョコ)
製麺	単一等級	大前 大輔	大前 大輔	奈良県	株式会社 三輪そうめん松田	【認定製品等：素麺】三輪素麺
製麺	単一等級	松田 幸久				
製麺	単一等級	福田 隆仁				
製麺	単一等級	南 敏幸	南 敏幸	奈良県	奈良県 三輪素麺工業協同組合	【認定製品等：素麺】三輪素麺(緒環)
婦人子供服製造	1級	木村 由記子	木村 由記子	青森県	モード・由記	【認定製品等：婦人服】婦人服
和裁	1級	高橋 玉江	高橋 玉江	群馬県	高橋和裁所	【認定製品等：和服】和服全般の仕立
和裁	1級	宮本 美穂	宮本 美穂	千葉県	仕立て みやもと	【認定製品等：和服】和服縫製
和裁	1級	小関 友実	小関 友実	東京都	小関和裁師範学舎	【認定製品等：和服】誂え和服仕立 全般
和裁	1級	小関 三枝子				
和裁	1級	釵持 博	釵持 博	東京都	釵持和裁	【認定製品等：和服等】・誂え和服仕立 全般 ・オリジナルな衣類製作品・オリジナルな小物製品
和裁	1級	平山 留美	平山 留美	神奈川県	着物仕立 ひらやま	【認定製品等：和服】誂え和服仕立 全般
和裁	1級	宮森 光子	宮森 光子	神奈川県	カルディア企画 宮森和裁着付教室	【認定製品等：和服】和服仕立て
和裁	1級	今西 涉	今西 涉	石川県	今西和裁	【認定製品等：和服】着物全般
和裁	1級	上野 弘喜	上野 弘喜	石川県	うえの和裁	【認定製品等：和服】仕立て上がり着物、帯 全般
和裁	1級	斉藤 雅彦	斉藤 雅彦	福岡県	有限会社 福岡和装	【認定製品等：和服】和服
和裁	1級	手島 明彦	手島 明彦	福岡県	株式会社 九州和装	【認定製品等：和服】和服
寝具製作	1級	倉林 裕子	倉林 裕子	東京都	有限会社 マルミヤ糸綿店 (マルミヤふとん店)	【認定製品等：寝具製品】 ふとん(寝具及び座布団等)
寝具製作	1級	野原 久義	野原 久義	神奈川県	トータル寝具ショップ のはら	【認定製品等：寝具製品】寝具製品全般(敷布団・ 掛布団・座布団・枕等)
帆布製品製造	1級	三島 良章	三島 良章	石川県	三島テント商会	【認定製品等：帆布製品】テントシート製品全般
家具製作 機械木工	1級	山口 一夫	山口 一夫	岩手県	山口家具	【認定製品等：家具】 家具(ロッキングチェア)
塗装	1級	有福 伸一	有福 伸一	神奈川県	株式会社 ダニエル	【認定製品等：家具】 椅子(ソファ、ダイニングチェア)
家具製作 塗装	1級	大村 徹				
家具製作	1級	海老沢 美紀				
家具製作	1級	佐宗 久典				
家具製作	1級	星野 浩幸				
家具製作	1級	本坊 修一				
家具製作	1級	三富 啓成				
家具製作	1級	山之口 博明				

認定製品等に対応する職種		一級技能士等の氏名		都道府県名	製作事業者名	認定製品等の概要
職種名	等級	氏名	氏名			
家具製作	1級	清須 一成	野崎 義嗣	神奈川県	Macaronidesign Co.LTD	【認定製品等：家具】オーダー型木製家具
家具製作	1級	野崎 義嗣				
家具製作	1級	藤元 晶扇	神奈川県	晶扇コーポレーション	【認定製品等：家具等】・まくら正座椅子・まくらチョイ掛け椅子・本革スリブ	
家具製作	1級	市田 友之	福岡県	sole wood products	【認定製品等：家具等】家具(小物、イス、テーブル)	
家具製作	1級	高野 二郎	大分県	高野家具製作所	【認定製品等：家具等】椅子、テーブル、お盆、造付家具、スピーカーセット等	
建具製作	1級	駒木 信一	岩手県	山井木工	【認定製品等：木製建具】木製建具	
建具製作	1級	小守 克佳				
建具製作	1級	安達 克敏	茨城県	安達建具店	【認定製品等：木製建具】茨城県産松材を利用した木製建具	
建具製作	1級	舟木 清	島根県	舟木木工所	【認定製品等：木製建具】伝統技能組子細工製作組子飾りの「衝立・屏風・スクリーン・飾り額入り欄間」	
家具製作 建具製作	1級	佐田 時信	岡山県	株式会社 佐田健美	【認定製品等：木製建具】木製建具	
畳製作	1級	尾崎 達彦	香川県	有限会社 山下畳商店	【認定製品等：畳】畳(新畳・表張替・別注特殊畳)	
畳製作	1級	新村 誠二				
畳製作	1級	山口 晃平				
畳製作	1級	山下 明宏				
畳製作	1級	山下 光一				
畳製作	1級	久保田 義秋	福岡県	有限会社 高田屋	【認定製品等：畳等】畳・有職畳・工芸畳全般	
畳製作	1級	岩尾 清治	大分県	岩尾畳店	【認定製品等：畳等】畳・へりなし畳・琉球畳・礼盤・畳工芸品	
畳製作	1級	下地 智	沖縄県	寄宮タタミ店	【認定製品等：畳】縁つき畳、縁なし畳	
畳製作	1級	益田 伸次	沖縄県	大伸たたみ店	【認定製品等：畳】畳	
表装	1級	河瀬 年典	岐阜県	河廣錦仙堂	【認定製品等：表装】表装(表具)の1級技能士が行う一連の表具作業(修繕を含む)	
表装	1級	山口 昌行	京都府	株式会社 室内装飾ヤマグチ	【認定製品等：表装】京都の日本画家 上村松園の絵のパネル	
貴金属装身具製作	1級	倉田 信二	岡山県	カンダシステム株式会社	【認定製品等：宝飾品】宝飾品(結婚指輪、婚約指輪)	
ロープ加工	1級	桑名 万吉	沖縄県	ミヤギロープ株式会社	【認定製品等：ワイヤ加工品】ワイヤ加工品	
印章彫刻	1級	鈴江 啓寿	岩手県	スズエ工房	【認定製品等：印鑑】印章	
印章彫刻	1級	鈴木 延之	栃木県	株式会社 鈴印	【認定製品等：印鑑】印章	
印章彫刻	1級	渡邊 典弘	東京都	有限会社 栄文堂印房	【認定製品等：印鑑】印章彫刻全般(亀甲印、江戸はんこ)	
印章彫刻	1級	青山 尚文	神奈川県	有限会社 青山印房	【認定製品等：印鑑】木口彫刻にて製作した印章(印鑑)	
印章彫刻	1級	大賀 雅雄	神奈川県	有限会社 大賀堂印房	【認定製品等：印鑑】印章(印鑑) 実印、銀行印、認印等	
印章彫刻	1級	國峯 伸之	神奈川県	有限会社 国峯印房	【認定製品等：印鑑】木口彫刻、ゴム印彫刻にて製作した印章(印鑑)	
印章彫刻	1級	水嶋 祥貴	神奈川県	有限会社 東暉印房	【認定製品等：印鑑】木口彫刻にて製作した印章(はんこ)	
印章彫刻	1級	和田 清博	神奈川県	一級工房 彫助	【認定製品等：印鑑】舟月印章	
印章彫刻	1級	鶴見 健一	石川県	株式会社 ツルミ印舗	【認定製品等：印鑑】印章・印鑑	
印章彫刻	1級	鶴見 昌平				
印章彫刻	1級	土屋 武志	長野県	土屋印店	【認定製品等：印鑑】印章・印鑑	
印章彫刻	1級	青木 杉匡	兵庫県	アオキ印房	【認定製品等：印鑑】印章・印鑑	
ガラス用フィルム施工	1級	郡司 公生	栃木県	株式会社 アベックス	【認定製品等：自動車ガラスのフィルム貼り付け施工】自動車ガラスのフィルム貼り付け施工	

厚生労働省報道発表資料(平成31年4月26日)を元に作成。

技能士の技による製品 グッドスキル マークとは?

グッドスキルマークは、一級技能士等(特級技能士、一級技能士又は単一等級の技能士)が技能を駆使した製品等(製品、建築物及びサービス等)にのみ表示することができるロゴマークです。

人材育成・意匠に造詣の深い有識者等の審査を経て、当マークの表示が認められます。

グッドスキルマーク表示の対象は、以下の製品等となります。

- ① 技能検定職種による技能と関係のある技能を駆使した製品等であること。
- ② 一級技能士等が製品等の完成までの全工程において一貫して関与し、技能を駆使した製品等であること。

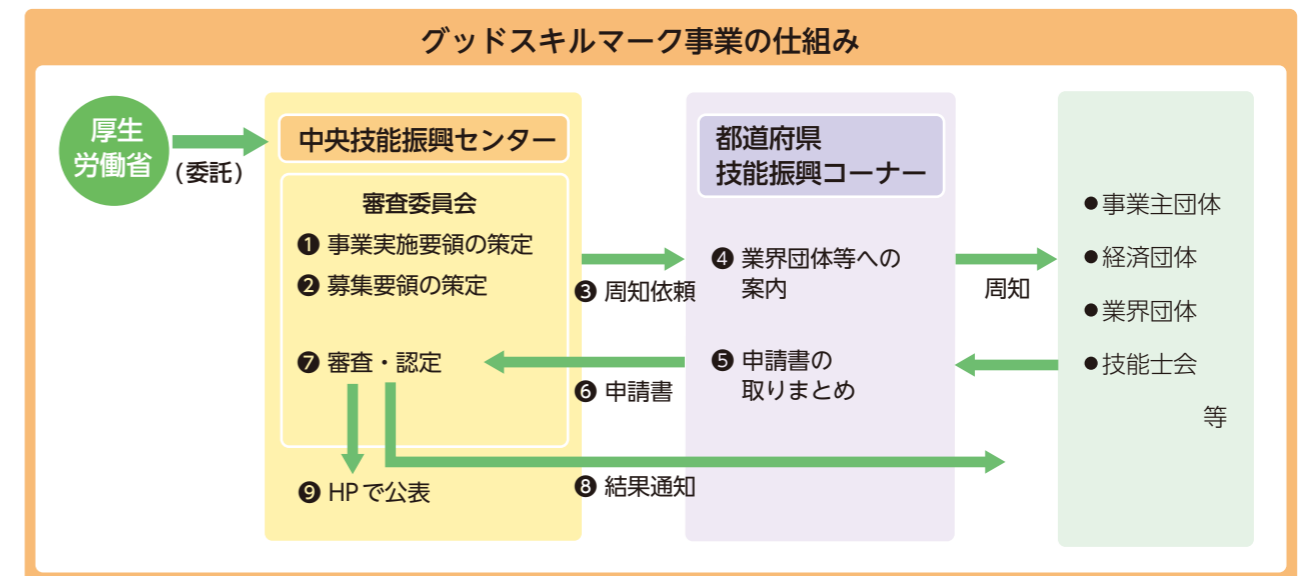
グッドスキルマークに認定されると・・・

■ グッドスキルマークの表示が認められます。

消費者に対して、一般技能士等が技能を駆使した製品等について、技能が活かされた付加価値の高い製品等であることを広く周知することができます。

■ 全国へ周知広報を行います。

グッドスキルマークに認定された製品等は、厚生労働省の報道発表や「技のとびら」へ掲載されます。これらの広報ツールによって、製品等を日本全国へアピールできるチャンスです。



【応募方法】

グッドスキルマークの表示を希望する事業主の方は、「グッドスキルマーク認定申請書」等に必要事項をご記入のうえ、申請書類一式を応募者が所在する地域を管轄する地域技能振興コーナーにご提出ください。

詳しくは、技能検定制度等のポータルサイト「技のとびら」をご参照ください。

URL <http://www.waza.javada.or.jp/goodskill/>